

## 令和4年3月新規学校卒業者の採用について

謹啓 初夏の候、貴殿におかれましては、益々御清栄のこととお慶び申し上げます。

日頃から県内雇用施策の円滑な推進に御理解と御協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、最近の県内雇用失業情勢につきましては、新型コロナウイルス感染症の影響があるものの、政府の雇用を維持する経済政策や企業のアフターコロナを見据えた人材確保の動き等により、令和3年4月の有効求人倍率は、1.19倍と3か月連続して、1倍台を維持する状況となっております。

また、本県の今春卒業した大学生等の就職率は95.9%、高校生については98.7%と昨年度を上回る高水準となり、これは貴会並びに会員企業の皆様方の新規学校卒業者に対する深い御理解と御協力の賜であると深く感謝申し上げます。

しかしながら、県内ハローワークが受理した令和3年3月新規高等学校卒業者の求人数は、2,189人で前年比28.4%と大幅な減少となり、とりわけ観光関連産業等の一部産業においては、5割程度減少するなど、生徒が希望する業種の選択が難しい状況となっております。

こうした中、山梨労働局としては、「甲府新卒応援ハローワーク」を始め、各ハローワークと学校との連携を更に深めるとともに、若者の雇用管理状況が優良な中小企業を積極的にPRする「ユースエール認定制度」の推進や求人票と一体となった企業情報の発信を通じて、若者と中小企業とのミスマッチの解消を進めるなど、学生・生徒の就職及び求人企業の円滑な人材確保に総力を挙げて支援しているところでございます。

一方、県としても、就職希望者と企業とが一堂に会する「合同就職面接会」、「合同就職フェア」を対面だけでなくオンラインで行うとともに、「ジョブカフェやまなし」、「やまなし暮らし支援センター」における大学生等のU・Iターン就職の支援、インターンシップの推進など、大学生等の新規学校卒業者等の就職支援に全力を挙げて取り組んでいるところでございます。

また、県教育委員会としても、就職支援教員の配置、ハローワークやジョブカフェなどと連携した支援の充実、「進路指導主事連絡会議」、「就職指導担当者会議」及び「進路指導部会就職委員会」での情報交換、「工業系高校生基幹産業担い手育成事業」による技術向上やインターンシップの推進など、高校生への就職支援体制を強化しているところでございます。

ハローワークでは、本年2月1日から令和4年3月新規大学等卒業予定者対象の求人受理を開始しており、新規高等学校卒業予定者を対象とした求人受理も6月1日から開始しておりますが、長引く経済の減退等により、企業の採用動向に不透明感が強く、今後、学生・生徒の就職・採用活動への影響が懸念されております。

このため、山梨労働局、山梨県、山梨県教育委員会といたしましては、新規学校卒業予定者が十分な企業情報を得て適切な職業選択を行い、卒業後、安定的に働くことができるように、求人確保に取り組む所存でございます。

貴会並びに会員企業におかれましては、新型コロナウイルス感染症の影響により大変厳しい事情を抱えているところ大変恐縮ではございますが、このような求人確保の取り組みに御理解いただき、早期の求人提出につきまして御協力を賜りますようお願い申し上げます。

謹白

令和3年6月7日

山梨労働局長 生 方 勝

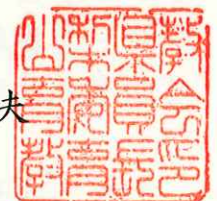


山梨県知事 長崎 幸太郎



山梨県教育委員会

教育長 三井 孝夫



山梨県経営者協会

会 長 佐々木 宏明 殿